



## 大和小だより ~令和7年夏休み号~

【学校教育目標】進んで学習する子 思いやりのある子 よく考えて行動する子 元気よく遊べる子  
大和市立大和小学校 〒242-0018 大和市深見西 8-7-1 ☎046-261-0795

### 笑顔の夏休みになりますように

昨年の大和小だよりの書き出しです。↓↓↓

【梅雨が明け、これから夏本番を迎え、暑さも増してきますが、夏の訪れが楽しみです。・・・本来であれば、このような挨拶になるはずですが、今年は、災害級の大雨が降ったり、気温が40℃に迫ったりするなど、各地の様子が連日ニュースで伝えられています。】

今年も全く同じ日々が続いています。大和小学校では、暑さ指数(WBGT)をドラえものの色で児童に伝えており、赤いドラえもんは、屋外での運動(水泳学習も)が禁止となります。朝の10時に基準値を超える日もあり、外で遊べないことを残念がる悲鳴があちらこちらから聞こえてきます。子どもたちの気持ちを考えると、大変心苦しいのですが、身体



の安全確保を最優先せざるを得ない状況が続いています。  
ご家庭でもお子様の健康のため、日々ご尽力いただいていますこと、心から感謝申し上げます。同じく、この気候の中、地域のみなさまには、児童の登下校の安全のため、毎日ご尽力いただいておりますこと、重ねて感謝申し上げます。



1年のうち、土日祝日・長期休業(春・夏・冬休み)は、約160日あります。そのうち夏休みは、44日です。この長い期間、ご家族で様々な体験や、地域のイベント参加など、楽しい時間をたくさん作ってほしいと思います。一方で、この時期悲しいニュースが流れることがあります。海や川の事故、交通事故、自然災害、熱中症などです。一人ひとりが自分の命を大切に、大和小学校の子どもたちをはじめ、保護者・地域のみなさまが、自分の命を大切にして、健康で過ごし、9月1日を、全員が笑顔で迎えることを心から願っています。

学校長

先月の大和小だよりで冷房の不調が改善されたことをお伝えしましたが、その直後にまた機械の調子が悪くなってしまいました。修理について業者の方とやり取りする中で、「冷房がなぜ冷えるのか」についてあらためて疑問に思いました。電気が熱や光、動きに変わるのわかりますが、室内を冷やせるのは不思議です。

調べてみると、気化熱で冷やした冷媒を循環させることで、熱を外に放出する仕組みであることがわかりました。「部屋を冷やす」というより「熱を外に捨てる」イメージです。暑い日は熱を外に捨てにくいので、冷房が効きづらくなることもあるそうです。逆に暖房は「熱を外からもらってくる」ため、寒い日に効きづらいとのこと。因果なものです。

世の中には「なぜだろう?」と思うことや、わからないことがたくさんあります。大人が調べたり学んだりする姿を子どもたちに見せられるとよいなと考えています。

教頭